

共通事実シート

〔登場人物, その他設定〕

- ・鈴木花子 85 歳（遺言者・母親）※夫は既に死亡
 - ・佐藤桃子 60 歳（長女）
 - ・鈴木太郎 50 歳（長男）
- の 3 名。花子と太郎が東京都在住（同居）、桃子が山梨在住。
- ・株式会社 A（A 社）…鈴木花子が 40%，鈴木太郎が 60%の株式を持つマンション管理会社（マンション 1 棟のみ所有し、その管理を行う会社）。

〔共通事実〕

1 鈴木花子について

- ・花子の財産と時価評価額は、以下のとおり。
 - ① 土地 1（土地に A 社名義の賃貸マンションあり。A 社からひと月 5 万円の地代をもらっている） 評価額 4000 万円（底地価格）
 - ② 土地 2（土地には以下の③の自宅建物あり。） 評価額 4000 万円
 - ③ 自宅建物（3 階建ての 1 棟の自宅建物。花子と太郎が同居中。1 階部分は会社事務所として、ひと月 20 万円で賃貸中。2 階と 3 階が自宅。）
評価額 2000 万円（土地建物合計 6000 万円）
 - ④ 賃料債権（上記①の地代）
 - ⑤ 賃料債権（上記③の家賃）
 - ⑥ A 社株式（非上場株式） 400 株（全株式の 40%） 評価額 800 万円
 - ⑦ 現金・預貯金 1000 万円
- ※上記以外の財産は、些末な動産なので考慮しない。
- ・健康に問題があり、医師から余命半年と言われ、自宅で療養中。杖がないと歩けない。
 - ・太郎とは折り合いが良くないが、自分の面倒を見てくれる太郎の妻にはとても感謝している。

2 佐藤桃子について

- ・桃子は、山梨県の佐藤家に嫁いで、現在、夫と 2 人暮らし。夫はサラリーマン。桃子自身は専業主婦。子供 2 人はすでに社会人として独り立ちしている。
- ・桃子は花子と仲が良く、1 か月に 1 回は山梨から花子の自宅に遊びに行っている。

3 鈴木太郎について

- ・太郎は妻と子供 2 人の 4 人家族。子供は長男が大学 4 年生、長女が高校 3 年生。
- ・花子と同居しているものの、折り合いは良くない。
- ・妻は、そんな花子と太郎の関係を見ながらも、文句を言わず、毎日の食事の支度や病院の付き添いなど、かいがいしく鈴木花子の日常生活の面倒を見ている。

共通事実シート

- ・ 太郎は、A 社の代表取締役で、株式の 60%を持っている。マンション管理については全て太郎が行っている。役員報酬は月額 40 万円。

4 その他の事情

- ・ 姉・桃子と弟・太郎は、特に仲が良いわけでも、悪いわけでもない。
- ・ A 社について
 - ・ 某会社の社宅として一括して借り上げされており、毎月、100 万円の売り上げがあつて、黒字経営である。銀行からの借入金（マンション建設資金）も問題なく返せている。
 - ・ もっとも、将来のマンションの大規模修繕を考えると、キャッシュフローは十分ではなく、5 年以内には借入金を増やさなければならないかもしれない状況である。
 - ・ 役員構成は、弟・太郎が代表取締役（月 40 万円の報酬）、姉・桃子が監査役（名目的。報酬なし。）。